

第4号

酪農

とちぎ



夏、間近か

夏期放牧が始まり、夏が、もうそこまで来ております。組合員の皆様には本格的な農繁期となり、何かと多忙な日々と察しますが、農作業事故には十分留意し、愛牛の防暑対策を励行下さい。

「酪農とちぎ」はもうすぐ一周年を迎えますが、皆様とともに、今後とも邁進してまいりますので、よろしくお願い致します。



初年度は組織づくりと事業推進

各部門とも順調に推移

昨年八月一日に合併しました酪農とちぎの初年度事業は、三月末日で終了したところですが、この八ヶ月を顧みながら報告いたします。

初年度は、八市二十八町村の広域に及ぶ組合員の声が組合運営に反映する組織として、九地域に酪農組合を設立し、さらには同地域に青年部・女性会の支部を、三支所に各々酪農ヘルパー利用組合の立上げを行いました。

業務執行に当たりましては、月例理事会を中心に監事会、部門別委員会および地域酪農組合長会議を開催し、組合業務の進捗状況報告、組合運営についての審議を重ねて参りました。

また、総代選出につきましては規程に基づく選挙を執行し、無投票で一八六名が就任しました。

業務運営は、旧組合の施設を拠点とし、「一室四部、三支所十一事業所」の機構体制により、各部署業を展開しました。

特に、乳質検査業務につきましては、乳質保全規程を定め規定に基づいて実施しております。検査は那須高原CS、宇都宮CSの二ヶ所に集約したことにより検査業務の合理化を図りました。

また、組合施設の合理化および効率的運用を進めるため、三支所に「経営合理化検討協議会」を設置し、全役員による施設視察調査を行いながら今後の合理化方策を協議し、三月末には五軒町事業所を閉所いたしました。

昨年九月、国内初のBSE発生に際しましては、県行政機関に「BSE問題栃木県対策本部」が設置されたところですが、組合におい

ても役員による対策を協議し、国・県・国会議員等に対策支援の要請を行いました。また、組合独自に発生時の対応、発生農家への支援策等を折り込んだ「BSE対策マニュアル」を作成し、危機管理体制を整えました。

秋の褒章におきまして、越井光男副組合長が黄綬褒章を受章されましたことは、本人の荣誉と喜びにとどまらず、組合にとりましても合併初年に相応しい喜びと誇りにするところです。

各部門の事業経過および今年度計画につきましては、支所別説明会で細部説明しますが概略のみ報告します。

生乳販売事業

平成十三年八月の合併により日量600トンと国内最大の生乳を扱う酪農専門農協として発足し、東京市乳圏の原料乳供給地としての恵まれた立地性、そして「那須」というブランドを活かして指定団体である関東生乳販連との連携のもと一元集荷・多元販売の効果を

高め、取引乳業メーカーとより充実した取引関係を構築し事業を進めて参りました。

合併した六酪農協の組合員の総意によるこの大同団結により「組織の力と団結の成果」として、生乳販売事業部門における総利益は、五四九、四一五千円で計画比98・6%と若干計画を下回りましたが、概ね計画通りの実績を達成することができました。

生乳販売量については、生乳販売目標量一三七、三七九トンに対し、年度途中における中止、加入があり一三六、三二六トンと計画



審議する理事会



比99・2%にとどまりました。北海道に次ぐ生乳生産県である栃木県においても、他の都府県同様生産の伸びが鈍化し、前年度を下回ったことは今後の栃木県における酪農経営基盤の確立の点からも由々しき事であります。

そのようなことから、平成十四年度における生乳計画生産については、組合員の皆様からの自主申告により行うこととし、安定的な生乳の確保に努める事としたところであります。また、夏季の生乳の需要期（六～十月）における生乳の生産及び高品質原料乳の確保をするための需要期出荷奨励制度及び優良生乳出荷奨励制度を今年度においても設けましたので、組合員の皆様の積極的な取り組みをお願いするものです。十三年度においては、奨励金は組合員各位のこの努力によりほぼ計画通りの、九一、七八五千円を支払うことができました。

また、栃木県産牛乳の消費拡大、送乳コストの低減の点からも有利な販売を図るため、県内乳業メー

カー及び市乳販売部並びに関連会社である栃木明治牛乳㈱との連携を密にして効率的な事業推進に努めました。

合併における重要課題である事業の効率化、合理化を図る観点から集送乳業務についての見直しを進めコストの低減に努め、特に集乳路線の再編については、那須高原支所管内において八月一日の合併日より、組合員各位の深いご理解とご協力のもと、一部合理的な集乳路線の再編を行いました。今後更なる効率化に向け県下一円の集乳路線の再編整備を進めてまいります。

乳質においては、多少の不合格乳の発生及び不良乳の発生はあったものの、組合員各位による高品質乳の生産努力により、平均で脂肪率3・98%、無脂固形分率8・74%、細菌数3・3万、体細胞数24・6万と大変良好な成績となりました。また、乳質検査に資するため、今年度中に新たに二台のコンピフォス（体細胞及び成分検査機器）を導入する予定であります。

今後とも高品質乳の生産に対しご協力のほどお願い致します。

懸案であります県北CSの統合整備については今年度中に具体的な計画を作成し、平成十六年三月の完成に向け、集送乳の合理化を検討することとなります。

市乳販売事業

市乳販売は、生乳生産に恵まれた環境と大消費地が近距離にあり、この地理的条件を活かし有利な販売を行うため、生乳の市乳化による付加価値をたかめて拡販に努めてまいりました。しかし、合併直後の九月には、国内初の「BSE」が確認され、酪農界は大きな衝撃を受け、牛乳においては「安全・安心」をPRしたにもかかわらず消費は低迷しております。

この様な中で、販売先である明治乳業㈱と連携を図りながら拡販に努めた結果、販売数量も計画比101・6%との伸びを示すことが出来ました。

十四年度計画につきましては、「新鮮・安全・安心」をコンセプト

トに「おいしい牛乳」をPRし、特に明治乳業㈱及び東京明販㈱等の連携を強化しながらニーズに対応し販促活動を積極的に行って参ります。

酪農部

十三年度は合併初年度と言う事で慌しい事業展開でありましたが、各事業とも概ね計画を達成することができました。しかし国内にBSEが発生した事、又、食品メーカーによる食肉偽装事件が相次いで発覚したことで、牛肉・子牛価格は暴落し、更に廃用牛が滞留しているため搾乳牛の更新ができず生乳生産量も減産しております。

酪農家の精神的不安と経済的損失はおおきく大変厳しい状況下にあります。十四年度各事業については、組合員の皆様の負託に応えるよう取り組みます。

購買事業

十三年度については、指導購買を基本として配合飼料等購買品の価格引き下げ、組合指定配合飼料



(五種類)の開発及び普及推進、TMRの普及推進、配合飼料等の直送推進などを積極的に行い、組合購買利用の推進に努めました。又、年度末に配合飼料及び混合飼料供給量別利用奨励金を計画通り支払うことが出来ました。

十四年度は、指導購買はもちろんのこと昨今のBSE発生等を教訓として、安全・安心を第一主義に、より良質で安価な飼料等生産資材の安定供給に努めながら、次の事を重点に取り組んで参ります。スケールメリットを活かすため、組合指定配合飼料の普及推進を積極的に行い、現在八十品目以上ある配合飼料を出来る限り集約します。酪農家の生産コストの低減と、労力の軽減を図るためTMRの普及推進に努めます。価格低減を図るための直送等の推進を積極的に行います。組合員の皆様の理解を得ながら飼料倉庫の合理化を行い、効率的な供給体制の確立に努めます。配合飼料及び混合飼料の供給量別奨励措置を実施します。

以上により、購入飼料費の軽減に寄与できるよう事業の推進を図つてまいりますので、より一層の組合購買利用のご協力をお願いいたします。

指導事業

組合員のニーズの多様化、高度化に迅速かつ的確に対応できるように指導体制の充実強化と経営改善飼料給与、乳牛改良等各分野のエキスパート(専門職)を養成し、支所・事業所を中心に組合員に密着した事業を推進します。

一、指導部門

- (一) 巡回指導を実施し、経営実態把握と改善計画の推進指導に努め、生産性の向上、安定を図ります。
- (二) 乳質向上指導の徹底、需要期増産の推進及び計画生産の達成に努めます。
- (三) 導入・肉用化・預託事業及び乳牛改良増殖の推進に努め、優良後継牛の確保を図ります。
- (四) 組合員の親睦と協同意識の高揚を図るため、支所活動事

業を強化推進します。又、昨年新たに設立された地域酪農組合、青年部・女性会活動の支援を図ると共に、後継者育成に努めます。

- (五) BSE対策等各種補助事業の活用、推進により経営の安定向上を図ります。

二、酪農ヘルパー部門

酪農家の周年拘束労働の改善とゆとりある生活を目指すため、利用組合の意見を集約しながらヘルパー事業の充実を図ります。又、傷病時利用互助会制度を推進します。

三、診療部門

- (一) 乳房炎防除指導を徹底し、体細胞数の減少に努めます。
- (二) 効率的な雌雄判別受精卵移植を探索し、受精卵移植を広く推進します。
- (三) 関係機関と連携し、BSE対策等伝染病予防対策を講じます。

ふれあい牧場事業

組合の預託牧場として、組合員

の後継牛育成に最善をつくして参ります。

常時300頭の預託牛には、ストレスの少ない健全な育成と運動量の多い強靱な牛つくりを努めます。その為に、場内16放牧区と今市市小林の放牧場を有効に活用します。尚、場内放牧場は周年で利用し運動量と飼養密度に配慮しながらの育成に努めます。

自給飼料確保では、33・3ヘクタールの牧草の適期刈りを励行し栄養価の高いエサつくりを努めます。

更に預託者の要望に応え、未經産牛の採卵や、優良後継牛(ホルス)確保と付加価値(和牛)を高める受精卵移植を推進します。

場内には、90席(屋内)と二箇所「あずまや」(屋外)のバーベキュー施設があり多くの方々に利用されており、牧場の環境美化に心掛け多くの来場者を招き、酪農に対する良さを理解していただき、牛乳・乳製品の消費拡大に直結するよう努めてまいります。



春の叙勲

前田組合長

星野、藤田氏に勲五等の栄誉

前田忠利氏 75 畜産振興



前田忠利組合長は、春の叙勲において勲五等瑞宝章の栄誉に浴されました。

星野義治氏 73 地方自治



また、本組合員の二宮町の星野義治さん、黒磯市の藤田一二さんが同じく勲五等に叙されました。

藤田一二氏 72 地方自治



このたびの受章の喜びは、本人のみならず、組合におきましても大変名誉な朗報であり誇りです。皆さんと共に、心よりご功績を讃えお祝い申し上げます。

前田組合長は、旧那須山麓酪連会長、旧那須高原酪農協組合長を歴任され、酪農とちぎの初代組合長に就任されました。

現在、県酪連副会長、県畜産協会理事、関東生乳販連理事、全酪連審議委員等も務められております。

特に、県酪農協の合併推進に当たりましては、合併推進協議会副会長、設立委員長として卓越した洞察力と行動力を駆使し、今日の酪農とちぎ発足に尽力されましたことは衆知のことと思います。



星野さんは、星野牧場の先駆者として水田酪農形態の経営基盤を確立し、現在は後継者の守さん夫妻が五十頭経営を継承しています。

地元酪農組合役員、農協理事として地域農業振興に尽くされました。また、消防分団長、社会教育委員を歴任、町議会議員を六期務められ、この間正副議長として行政発展に貢献され、地方自治功績者として栄誉に浴されました。受章に際し、「今回の叙勲は、思わぬ

受章であり、大変嬉しい。地域の皆さん、多くの皆様のご指導とご厚情の賜と深く感謝申し上げます。今後もこの栄誉に恥じることないよう一層精進したい」と話されました。



藤田さんは、酪農業を営みながら若くして地元青年団長、農協理事として活躍され、のちに旧山麓酪連理事・監事として組合発展に尽力されました。現在も、那須野農協の監事を務めております。

また、地元市議会議員として四期、この間正副議長を歴任、地方自治功績者として受章されました。藤田牧場は、現在後継者の時夫さん夫妻が四十頭経営されてます。藤田さんは今回の受章を、「多くの皆さんのおかげの一言であり、感謝申し上げます。十六年間の議員を通し、市庁舎・文化会館の建設に携わったことは、終生忘れ得ぬ思い出になります。これから、市政運営に尽くしたい」と語られました。



第一回酪農まつり盛会に開催さる

(第一回酪農とちぎホルスタイン共進会)

春の恒例行事として、「酪農まつり」がふれあい牧場（高根沢町）で盛大に行われました。

第一回目となる酪農まつりは、関係機関の招待者、宅配牛乳の愛飲者を招き二千五百人余りが集い、各行事を通して生産者と消費者との交流を深める事が出来ました。

天候は、桜咲く穏やかな天候に恵まれ、第一回酪農まつりに相応しい一日となりました。

酪農まつりの催事として、ホルスタイン共進会、お楽しみ抽選会、ふれあい広場においては、酪農青年部の協力のもと、搾乳体験、仔牛体重当て、ミニ動物園、ストラックアウト、パターゴルフ等のイベントを行いました。

また、女性会、関係業者・機関のご協力のもとに、模擬店が（牛乳、乳製品、牛肉、焼きそば等の販売）開かれ大変好評でした。

なかでも、ミニ動物園、ワタアメ等は子供達に大変な人気でした。

大抽選会はスピードくじ方式で行われ、マウンテンバイク、オープンレンジ等を引き当てた幸運な方々を目にしました。その他、関係業者による酪農機具機材等展示会が開催されました。

酪農まつりのメインである共進会は各部の牛齢を考慮し、牧場牛群を含め十部に区分し、未經産牛四十八頭・経産牛四十七頭の計九十五頭が出品され改良成果を競い合いました。

審査員は、酪農家の堤俊明氏（北海道空知郡

北村）を迎え、的確なジャジングと分かりやすい講評を頂きました。

第一回目の共進会は、組合の全域から優秀な乳牛が集まり、高いレベルでの競い合いが出来ました。

共進会の華となるディリープリンセスによる入賞牛のリボン装着は、金田千恵美さん（宇都宮市）、上野美由樹さん（二宮町）、鈴木美和さん（湯津上村）の三名によって行われました。



挨拶を行う
前田組合長



堤
俊明審査員



審査の結果、未經産の部名誉賞に狸塚信夫さん（黒羽町）、経産の部名誉賞には梶村健介さん（市貝町）及び菊池善也さん（南那須町）が受賞されました。

共進会のアトラクションとして開催されたジユニアショウは、あたたかい声援の中行われ、懸命に牛を引く姿をほほえましく感じました。

ジユニアショウの最優秀賞には、小池穂ちゃん（高根沢町 小池一光さんのお孫さん）が輝き一家大喜びでした。

第一回目の酪農まつりは、組合員をはじめ、関係者各位のご協力のおかげを持ちまして、成功裡に終了する事が出来ました。今後ともご協力をお願い致します。

尚、ホルスタイン共進会の上位入賞者は別表の通りです。





酪農まつり 2002

牛・人・自然との共生



平成14年4月1日

未経産の部 名誉賞

黒羽町 狸塚 信夫 氏



メーランド ウインドスター ヘディー

経産の部 名誉賞

市貝町 梶村 健介 氏



K ボビー エヌ オリンピア

南那須町 菊池 善也 氏



キクイチ ジュラー ファースト ジャベラー



部 別	賞	出品番号	入 賞 牛 名 号	出 品 者	住 所
未 経 産	名 誉 賞	405	メーランド ウインドスター ヘディー	狸塚 信夫	黒 羽 町
経 産		701	K ボビー エヌ オリンピア	梶村 健介	市 貝 町
経 産		907	キクイチ ジュラー ファースト ジャベラー	菊池 善也	南那須町
第 1 部	優等賞一席	110	タクヨウ ジー ダーハム	那須拓陽高校	西那須野町
	優等賞二席	117	ゴールドリーフ レクサス ジャンボリー	薄葉 恒夫	那 須 町
	優等賞三席	102	KZMR ロング サウンド ダーハム	梶村 健介	市 貝 町
第 2 部	優等賞一席	204	キクイチ コラ プリンセス レデューク	菊池 善也	南那須町
	優等賞二席	207	キクイチ マダム レデューク ジャベラー	菊池 善也	南那須町
	優等賞三席	205	BM アダムチェック スター	中山 智之	南那須町
第 3 部	優等賞一席	311	ウインスレット セカンド ダーハム	室井 繁幸	黒 磯 市
	優等賞二席	305	KZMR アーリー マックス バック	梶村 健介	市 貝 町
	優等賞三席	309	グリーンベイ シーイー ミックス	山中 橋男	今 市 市
第 4 部	優等賞一席	405	メーランド ウインドスター ヘディー	狸塚 信夫	黒 羽 町
	優等賞二席	402	ヘルシーファーム ジョダニー マーカー	鈴木 積	高根沢町
	優等賞三席	407	リージェント リーダー キム	和 田 泰	塩 原 町
第 5 部	優等賞一席	503	パンパルリー ネリー サウス プロGRESS (B.U.)	中山 真介	南那須町
	優等賞二席	510	リバーファーム エヌバイ マリー	川田 佳男	宇都宮市
	優等賞三席	508	ブレンチ ピア ジェラー	人見 寛昭	黒 磯 市
第 6 部	優等賞一席	607	シルクラド ダビソン ジャステス エアロ (B.U.)	小林 幸雄	上河内町
	優等賞二席	604	タカノハシ ミックス アストロ	鷹 箸 稔	今 市 市
	優等賞三席	606	ヒロファーム プライド ジョイフル	黒崎 浩	芳 賀 町
第 7 部	優等賞一席	701	K ボビー エヌ オリンピア (B.U.)	梶村 健介	市 貝 町
	優等賞二席	707	コマバファーム ヨロード マンデル スターダム	駒 場 久	宇都宮市
	優等賞三席	710	コージー アイロー アリス	大 滝 信夫	市 貝 町
第 8 部	優等賞一席	812	ナスプレリー ブラック ジュラー (B.U.)	佐久間隼人	那 須 町
	優等賞二席	802	カタラクト ロング フォーム コディ	大 滝 信夫	市 貝 町
	優等賞三席	810	ルーラル ジェネラル パーソナリティ	伊 藤 高行	那 須 町
	ベストプロダクション	811	リバーファーム マンディ ルドルフ	川田 佳男	宇都宮市
第 9 部	優等賞一席	907	キクイチ ジュラー ファースト ジャベラー (B.U.)	菊池 善也	南那須町
	優等賞二席	910	エム サンライズ スカイブリティ アンディ	檜 山 嘉男	南那須町
	優等賞三席	904	シルクラド リンディ タイディ	小林 幸雄	上河内町
	ベストプロダクション	901	サングローリー ダークスター ミステイカル	中山 光雄	南那須町
第 10 部	優等賞一席	1003	牧場牛群(3頭1組)	駒 場 久	宇都宮市
	優等賞二席	1004	"	小林 幸雄	上河内町
	優等賞三席	1001	"	大 滝 信夫	市 貝 町

入賞牛名号内の(B.U.)はベストアダーです。



四月度理事会

報告事項

- (一) 農業近代化資金貸付について
 - (二) 生乳委託者会議について
 - (三) 第一回酪農まつり結果報告について
 - (四) 顧問弁護士について
- 協議事項
- (一) 二月度事業実績について
 - (二) 農業近代化資金貸付について
 - (三) 平成十四年度生産者支払乳

春夏秋冬



テレビの影響は大きい。最近、町の暮会所に中学生が数名そろって来て、「囲碁を初めたいので教えて下さい」と言って入って来るそうである。

その背景は、テレビアニメ「ヒカルの碁」にあることが明らかである。主人公の進藤ヒカルは、平安の天才棋士、藤原佐為の霊を宿し囲碁の世界へ入っていく。囲碁を初めたヒカルは、みるみるうちに上達し、暮会所の大人を相手に次々と勝ちを重ねて、中学生の時

価について

- (四) 平成十四年度事業計画案について

五月度理事会

報告事項

- (一) 地域別説明会開催について
- (二) 平成十三年度決算監査報告について
- (三) 農業近代化資金貸付について
- (四) 五月份生産者支払暫定乳価について
- (五) 職員人事異動について

にプロ棋士を目指す、というストーリーである。

テレビを見ている子供達は、自分も囲碁をやれば主人公のようになれる。自分も囲碁をやりたいなると子供の心理を的確につかんでいる点にあると思う。

明治乳業の「おいしい牛乳」のテレビコマーシャルは、乳業界のCMでは久々のヒットである。おそらく、業界のCM大賞候補になる作品であると思う。

白木の牛乳の宣伝は、個性の表現がむずかしいと言われているが、「おいしい牛乳」のCMを見ていると、牛乳の品質の良さを的確に表現しているから、牛乳を飲みた

協議事項

- (一) 三月度事業実績について
- (二) 平成十三年度事業実績について
- (三) 剰余金処分案について
- (四) 定款・規約及び諸規程の変更について
- (五) 役員候補者について

顧問弁護士の紹介

組合では、法律相談員として顧問弁護士と契約しておりますのでご相談等あります場合には、各支所へ申し出頂ければ紹介いたします。

くなるような気持ちになる。

関東地域で販売されている「おいしい牛乳」は、本組合の原乳を使って、栃木明治で製造している。当初の計画以上の物量が製造されており、更に売り上げが伸びることを期待できると思う。

飽食の時代の中で、完全栄養食品であるだけでは、他の飲用食品に市場を奪われてしまう。

ドリンク類の宣伝費は、売上額の10%～15%が使われているのに、牛乳は0.5%といわれている。牛乳の良さが正しく消費者に伝わり、消費者が牛乳を飲む気になるようなPRが必要である。

(〇)

人事異動

- 退職 (三月三十一日付)
 - 安波 三順 (酪農部長)
- 新採用 (四月一日付)
 - 久保居章夫 (総務部)
- 異動
 - 六月一日付にて別紙のとおり異動が行われましたので、お知らせします。

編集後記

合併初年度事業も、あわただしさの中終了し、新年度がスタートしました。ふと自分の足跡をふり返ると、酔狂千鳥足の如くあつちへ、こつちに醜いものかと思うと恥ずかしい限りである。

BSEの影響は大きな社会問題となり、経済的打撃には計り知れないものがあり、一刻も早く終息することを願うところです。

ワールドカップがキックオフとなり、世界の目が日本と韓国に注がれています。渡韓される皆さん、フーリガンのみならず口蹄疫の予防対策を忘れずに。

景気回復の起爆剤と友好の輪が広がるよう、日本選手の活躍を期待したい。ガンバレ日本!

